

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月7日～

NYダウが2万9000を超えたあたりで反落してきました。

コロナショック前の最高値まで数百ドルのところまで来たので、達成感から下落転換してしまうのか気になるところです。

先週末の雇用統計では失業率は予想より大きく下がっていましたが株は軟調な動きとなりました。リスク回避的な流れが週明けから強まれば、調整入りと考えたいです。

今週末は先物・オプションなどのメジャーSQとなっており、株が荒れる可能性もありそうです。

<ドル/円>

ドル/円は106円台で落ち着いた動きが続いています。

105-107円程度のレンジを動いているので、レンジブレイクがあるかどうかポイントです。105円を割り込むと104円がサポートの目安です。

<気になるクロス円>

クロス円も反落してきたペアが多く、ユーロ、豪ドルなどが週足のレジスタンスに到達したことで、調整入りの可能性もありそうです。

ドルよりクロス円の方が株価に連動しているため注意したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では7月貿易収支、4-6月期GDP（改定値）、8月景気ウォッチャー調査、7月機械受注などがあります。

米国では8月卸売物価指数（PPI）、前週分新規失業保険申請件数、8月消費者物価指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏で4-6月期GDP（確定値）、ECB政策金利発表、ラガルド・ECB総裁定例会見、ドイツで7月鉱工業生産、8月消費者物価指数などがあります。

ほかには、カナダで政策金利、英国で7月GDPの発表などがあります。